

お知らせ

[Mihoko Iijima](#) · 2021年1月4日

第9回 InterSystems IRIS プログラミングコンテスト(マルチモデルコンテスト)

開発者の皆様 あけましておめでとうございます 今年どうぞよろしくお祈りいたします!

2021年最初の IRIS プログラミングコンテストの開催が発表されました

今回のお題は [InterSystems Multi-Model Contest](#) です!

応募期間は **2021年1月11日・24日** です!

(投票期間は 2021年1月25日・31日、勝者発表は 2月1日を予定しています)



優勝特典

、審査員から多く票を集めたアプリケーションには、次の賞金が贈られます。

1位 - \$2,000

2位 - \$1,000

3位 - \$500

2、開発者コミュニティで多く票を集めたソリューションには、次の賞金が贈られます。

1位 - \$1,000

2位 - \$500

3位 - \$250

複数の参加者が同数の票を獲得した場合、全参加者が勝者となり賞金は勝者間で分配されます。

参加資格

どなたでもご参加いただけます!(InterSystems
開発者コミュニティの [アカウントを作成](#) するだけでご応募いただけます)

コンテストのスケジュール

1月11日-24日 応募期間 ([Open Exchange](#)
へ作成したアプリケーションをアップロードいただける期間=2週間です。この期間内であればアップロード後
も自由に編集できます。)

1月25日-31日 投票 (1週間)

2月1日 勝者発表 (US時間に発表します)

コンテストのテーマ

マルチモデルアプリケーション

InterSystems IRIS を使用してマルチモデルソリューションを開発いただきます。

InterSystems IRIS はマルチモデルデータに対応したDBMSです。内部的には全てをグローバルに格納していますが、データベースに対して、キバリュ、SQL、オブジェクト、ドキュメントモデルでアクセスでき、すぐに利用できるAPIも提供されています。IRISでは、独自モデル(例えば GraphDB やカラムストア型など)を開発し、新しいデータモデルを提供するAPIを公開することができます。

このコンテストでは、少なくとも2つの異なるモデルを使用してデータにアクセスするアプリケーションを作成してください(例: キバリュとSQL、オブジェクトとリレーション、DocDBとキバリュ など)。

アプリケーションは、 [IRIS Community Edition](#)、 [IRIS for Health Community Edition](#)、 [IRIS Advanced Analytics Community Edition](#)
のいずれかで動作する必要があります。

また、アプリケーションはオープンソースであり、GitHubに公開していることが条件の一つです。

Helpful resources

1. アクセス方法に関する情報:

ドキュメント:

- [Multi-model data access](#)

1.1. グローバル (キバリュ)

グローバルはIRIS データベース内に保護管理できる次元配列です。グローバルへは、ObjectScriptとNative API([.NET](#)/ [Java](#)/ [Python](#)/ [Node.js](#)) を使用してアクセスできます。

ツール:

- [管理ポータルでのグローバルの管理](#)

ドキュメント:

- [次元ストレージの使用法 \(グローバル\)](#)
- [グローバルの使用法](#)

記事:

- [グローバルはデータを探索するための魔法の剣です パート1](#)
- [The art of mapping Globals to Classes](#)

ビデオ:

- [Globals QuickStart](#)

1.2. SQL アクセス

InterSystems IRIS は ObjectScript/REST API と ODBC/JDBC 経由でのSQLアクセスを提供しています。

ツール:

- [VSCode SQL Tools](#)
- [DBeaver](#)
- [管理ポータルの SQL インタフェースの使用法](#)
- [Other SQL tools](#)

ドキュメント:

- [SQL Access](#)
- [InterSystems SQL リファレンス](#)

記事:

- [InterSystems IRIS のラズベリー](#)

1.3. オブジェクトアクセス

InterSystems IRISは、[ObjectScript](#)/[REST API](#)、[Java](#)/[.NET](#) 用のXEPを利用して、オブジェクトのインスタンスをグローバルに探索する方法を提供しています。

ドキュメント:

- [Object Access](#)
- [サーバ側プログラミング入門ガイド](#)

1.4. ドキュメントアクセス

InterSystems IRISでは、REST API:ODBC/JDBC(SQL)を介してJSON形式のドキュメントを探索するための DocDB を提供しています。

ドキュメント:

- [DocDB](#)

2. コンテスト応募方法 ([このページ末尾のビデオ](#) をご参照ください)

3. オンラインコース(英語):

- [Multi-Model QuickStart](#)

4. ビデオ:

- [Multi-Model Development](#)
- [Multi-Inheritance in a Multi-Model Environment](#)
- [\[はじめての InterSystems IRIS\] セルフラーニングビデオ: 基礎の3: IRIS でクラス定義を作ろう\(オブジェクト様の練習\)](#)
- [\[はじめての InterSystems IRIS\] セルフラーニングビデオ: アクセス編: Python の Native API に挑戦](#)
- [\[はじめての InterSystems IRIS\] セルフラーニングビデオ: アクセス編: Python から PyODBC を使って IRIS に接続してみよう](#)
- [\[はじめての InterSystems IRIS\] セルフラーニングビデオ: アクセス編: IRIS で作成する REST サバの仕組み](#)

審査および投票(英語)

インタシステムズ社のプロダクトマネージャ、Developer Communityのモデレータ、グローバルマスターアドボケート(VIPレベル)等、Developer Community 内での投票が行われます。

コンテストの審査および投票については [こちら](#) をご覧ください。

READY. SET. CODE.

コンテスト規約については、 [こちら](#) をご参照ください。

ご応募方法について

以下の応募方法ビデオをご参照ください。

以下、コンテストに応募する迄の手順をご説明します。

コンテスト応募までの流れは以下の通りです(ビデオでは、3番以降の内容をご紹介します)。

- 1、IRISプログラミングコンテスト用テンプレートを使用して、開発環境を準備します。
- 2、コンテスト用アプリケーションを作成します。
- 3、コンテストの準備が完了したら、ソースコードをローカルのGitリポジトリへコミットします。

初回コミット時に、Gitの初期設定がないためコミットが失敗することがあります。
その場合は、以下のコマンドでGitユーザー名とEmailを設定します。

```
git config --global user.name "ここにユーザー名"  
git config --global user.email "ここにメールアドレス"
```

- 4、ローカルのGitリポジトリのコミットが完了したら、リモートのGitリポジトリを作成します。

リポジトリ作成、リモートリポジトリのURLをコピーします。

- 5、リモートのGitリポジトリへPushします。

```
git push ここにリモートのリポジトリのURL
```

- 6、[OpenExchange](#)にログインし、アプリケーションを追加します。

事前にDeveloper communityで [ユーザーアカウントを作成](#) する必要があります。
ログイン後、Profile Applications から Application をクリックし、4
でコピーしたリモートのGitリポジトリのURLを設定します。
アプリケーションを登録すると、画面右上に「Send Approval」のボタンが表示されるので、クリックします。
再度作成したアプリケーションを開くと、「Apply for
Contest」ボタンが表示されるので、クリックすると応募が完了します。

[#Multi-model](#) [#イベント](#) [#コンテスト](#) [#InterSystems IRIS](#) [#InterSystems IRIS for Health](#) [#IRIS contest](#)

ソースURL: <https://jp.community.intersystems.com/post/%E7%AC%AC9%E5%9B%9E-intersystems-iris-%E3%83%97%E3%83%AD%E3%82%B0%E3%83%A9%E3%83%9F%E3%83%B3%E3%82%B0%E3%82%B3%E3%83%B3%E3%83%86%E3%82%B9%E3%83%88%EF%BC%88%E3%83%9E%E3%83%AB%E3%83%81%E3%83%A2%E3%83%87%E3%83%AB%E3%82%B3%E3%83%B3%E3%83%86%E3%82%B9%E3%83%88%EF%BC%89>